

第7回古沢小学校のあり方協議会 議事概要

開催日：令和7年2月12日（火）

開催時間：19時00分～19時50分

開催場所：富山市立古沢公民館

出席者：長谷川会長、斉藤副会長、五十里副会長、高林（聡）監事、森委員、
河田委員、島田委員、荒木（祐）委員、杉田委員、市川委員、
石田委員、今井委員、松井委員

事務局：教育委員会事務局次長 高橋 洋
学校再編推進課長 山崎 悟
学校再編推進課長代理 高岡 太郎
学校再編推進課計画係主事 大関 光貴

《開会》

【司会】 第7回古沢小学校のあり方協議会を開催する。
会長に議事の進行をお願いする。
（会長 挨拶）

《委員の交代について》

【長谷川会長】 自治振興会の役員改選に伴う委員の交代があったため、事務局より報告を求める。

【学校再編推進課長】 あり方協議会の副会長の前田善一様と監事の荒木兼男様が自治振興会の役員改選により交代となり、新たに古沢地区自治振興会の河田見一様、同じく島田博昭様があり方協議会の委員に就任された。

《第1号議案「役員の選出」》

【長谷川会長】 事務局から報告のとおり、委員の交代に伴い、本協議会の副会長1名と監事1名が不在となっている。そこで、改めて本

会議の役員の選出のため、第1号議案「役員の選出」について議題とする。新役員については、副会長に古沢地区自治振興会副会長の五十里清委員、監事には同じく自治振興会副会長の高林聡委員を推薦したい。異議はあるか。

(「異議なし」の声あり)

【長谷川会長】 異議なしとのことで、第1号議案「役員の選出」について原案どおり可決する。

《第2号議案「古沢小学校の再編の方向性」》

【長谷川会長】 次に、第2号議案の古沢小学校の再編の方向性について議題とする。前回の協議会において、古沢、池多、老田小学校3校の総合に向けた話し合いを進めるという方向性がまとまった。その後、先月の23日に地区説明会を開催し、これまでの協議会の活動内容やこの方向性について、古沢地区の住民に報告した。説明会では、今後の進め方についてなど、様々な意見や質問をいただいたが、この方向性について反対という意見はなかった。そうしたことから、当協議会としては、古沢小学校、池多小学校、老田小学校3校での統合に向けた話し合いを進めるということで最終決定したい。よろしければ、拍手をもって承認に代えさせていただきたい。

(拍手)

《統合検討協議会について》

【長谷川会長】 それでは、3校での統合という方向性で進めていきたい。本協議会の方向性が決定したことから、今後3校での統合に向けた協議の流れについて、事務局より説明を求める。

【学校再編推進課長】 (「資料2-1 統合検討協議会の概要」について説明)

【長谷川会長】 次に、統合検討協議会のメンバーえを選出したい。資料2-2をご覧ください。老田、古沢、池多の3つの地区の代表者で協議することになることから、大体5名ほどになる。

- 【委員】 保育所の方を1人入れたほうがいいのではないか。
- 【長谷川会長】 保育所は、基本的には1年で役員が交代したり、他地区の保護者の方もいることから含めていない。個人的には5人目として教育後援会を入れてはどうかと考えている。
- 【委員】 P T A会長とP T Aの副会長が候補として入っているが、P T A会長が代替わりした場合、どうなるのか。
- 【斉藤副会長】 今年度のP T A会長と副会長は令和7年度で交代となるが、1月のP T A役員の交流会のときに、協議会の流れを把握している私と杉田委員がP T Aの代表として、引き続き学校統合に関する協議会の委員をやらせていただけないかという話をさせていただき、了承いただいている。
- 【長谷川会長】 その他に意見はあるか。
- 【学校再編推進課長】 3校区での検討協議会の委員は各地区から5人程度とお話したが、3校区の方向性が出揃い次第、改めて調整させていただきたい。仮にほかの校区で6人選んでほしいという話になれば、人数が増減することもある。
- 【長谷川会長】 それでは、検討協議会のメンバーについては、私のほうで調整させていただきたい。仮に5人目の推薦が必要ということになれば、教育後援会の市川委員を推薦したいと思うが、よろしいか。

(「異議なし」の声あり)

《学校名について》

- 【長谷川会長】 次の統合検討協議会では、先ほど説明あったように、統合の時期や場所等について3校で話し合いをすることになる。それに加えて、学校名をどうするかという問題が出てくる。古沢地区とすれば、古沢の校舎を使って統合するなら古沢という名前を残したいと思うが、おそらく老田の校舎を使って統合ということになる。そうすると、老田に行って古沢という名前をつけるわけでもないし、ほかの名前をつけるとなると

老田の人たちがどう言われるか分からない。せつかくここまで積み上げてきた話をご破算になる可能性もある。また、池多地区のほうでは、学校名には特にこだわらないということに聞いている。私の気持ちとしては、そこまで学校名にはこだわらなくてもいいのではないかと考えているが、皆様のご意見を伺いたい。ただ、もし学校名が変わるとなると、それに付随するいろんな作業が出てくることから、統合の時期が遅れる可能性がある。複式学級が2つもある状態からすれば、一刻も早く解消したいという思いで、統合の話を進めてきた。そうしたことは考慮していただきたい。

- 【委員】 せつかくつくるのなら、格好いい新しい名前がいいと思う。
- 【長谷川会長】 もちろん、そういう思いはあるが、そうしたって10年ほど持つか持たないかという話である。また学校名を変えると校歌や校章も変える必要があり、時間もそれだけかかる。
- 【委員】 多分こだわっているのは高齢の方だけではないか。
- 【委員】 P T A会長とかは特に校名にはこだわらないのではないか。
- 【斉藤副会長】 学校名を変えたいとか学校名を残したいという思いは正直あるが、学校名を変えることで何年もまた先延ばしになってしまうよりは老田小学校のままでいい。
- 【委員】 なるべく早い時期に統合できる名前にするということで。
- 【委員】 例えば、八人町とか、中央小学校で統合したときはどうか。
- 【学校再編推進課長】 町なかの学校は、例えば、五番町小学校があったところに中央小学校という新しい校名をつけた事例はあるが、最近の事例として、先日統合を決定した浜黒崎小学校や音川小学校は、できるだけ早くその統合を実現したいということで、校名にはこだわらず、統合する場所の校名そのままがいいという判断をされている。
- 【委員】 新しい校名をつくると時間がかかるのか。
- 【学校再編推進課長】 校名を変えると、校歌、校章を変えていかないといけないことになる。校歌を変えることになれば、統合の時期が1年、

2年と延びていく可能性はある。

【長谷川会長】 様々なご意見をいただいたが、学校名については、こだわらないということによろしいか。では、承諾をいただければ拍手でお願いします。

(拍 手)

《閉会》

【司会】 最後に長谷川会長よりご挨拶いただきたい。

【長谷川会長】 学校名については様々な思いがあると思う。ただ、現状を考えると、やはり複式学級を早急に解消し、正常な状態で子どもたちを教育していかないといけないという思いで、これまで進めてきた。今の目標としては、令和9年4月の統合ということで進めており、引き続き皆様のご協力をお願いしたい。

【司会】 それでは、本日、古沢小学校の再編の方向性が決定され、協議会の目的は達成された。今後は、統合検討協議会に移っていくことから、このあり方協議会については、会計監査実施後解散という方向で進めてまいりたい。会計監査結果と協議会の解散については、後日書面表決にて決議いただきたい。それでは、閉会に当たり、富山市教育委員会を代表して、学校再編推進課長の山崎よりご挨拶を申し上げたい。

【学校再編推進課長】 (学校再編推進課長 挨拶)

【長谷川会長】 それでは、以上をもって、第7回古沢小学校あり方協議会を終了する。

— 了 —